

教育・保育の内容並びに子育て支援等に関する全体的な計画 (本計画は教育基本法・児童福祉法・児童の権利に関する条約・認定こども園法・幼保連携型認定こども園教育・保育要領を踏まえて作成しています)

理念		心に華を咲かせよう ~ 一人一人の心が喜びに満ちあふれ、		自分らしい華を咲かせることができるように ~				
教育及び保育の目標		心やさしくたくましく ○自分も人も、自然も大切に作る心やさしい子ども		○発見や工夫を楽しみ、自分で考え自分で行動する、たくましい子ども				
目指すこども像		つきたい力	内容の5領域	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿	教育・保育において育みたい資質・能力	身に付けたい見方・考え方		
☆	自分も人も大切にする子	かかわる力	【健康】	①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳性・規範意識の芽生え ⑤社会生活との関わり	○心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする (学びに向かう力、人間性等)	<ul style="list-style-type: none"> きづく みつける にている くらべる つなげる わかる けいかくする 		
☆	自分で考え、自分で行動する子	やりぬく力	【人間関係】	⑥思考力の芽生え ⑦自然との関わり・生命尊重 ⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ⑨言葉による伝え合い ⑩豊かな感性と表現				
☆	発見や工夫を楽しむ子	気付く力	【環境】 【言葉】 【表現】	⑥思考力の芽生え ⑦自然との関わり・生命尊重 ⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ⑨言葉による伝え合い ⑩豊かな感性と表現	○気付いたことやできるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする (思考力、判断力、表現力等の基礎) ○豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かたり、できるようになったりする (知識及び技能の基礎)	<ul style="list-style-type: none"> ・てがかり ・えらぶ ・くふうする ・まとめる ・かいつする ・たしかめる ・つたえる 		
年齢	0歳	1歳		2歳	3歳	4歳	5歳	
発達	<ul style="list-style-type: none"> ・つかむ、振る、ひっぱる、たく ・周りの人や物に興味を示す ・安心できる大人のもとで一人遊び ・視覚、聴覚等の感覚の発達 ・泣く、笑う等の表情の変化や体の動き ・喃語等、自分の欲求を表現する 	<ul style="list-style-type: none"> ・歩く、押す、にぎる、こねる、つまむ、めくる、通す ・周囲の人や物に自分から働きかける ・探索活動が活発になり、いろいろな活動を繰り返し楽しむ ・指さし、身振り、片言等で自分の意志を伝えようとする ・箱の中の物を取ろうとしたり、扉の開閉をしたりする ・親指と人差し指で小さな物をつまむ ・拍を感じながら歌う 		<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な運動機能や指先の機能が発達する ・色や形、大きさを比較したり、分類したりして、共通点を見つけたり、違いに気付いたりする ・自我が芽生え、自己主張が強くなるため、友達とのぶつかり合いが見られる ・自分の意志や欲求を言葉で表現できるようになる 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な運動機能が伸びる ・食事、排せつ、衣類の着脱などもほぼ自立できる ・話し言葉の基礎ができ、盛んに質問する ・知的興味や関心が高まる ・自我の拡大から、充実へと成長していく ・対人関係で、自己主張を持ちながら他者を受容する 	<ul style="list-style-type: none"> ・全身のバランスを取る能力が発達する ・自然など身近な環境に積極的に関わり、様々な物の特性を知り、それらとの関わり方や遊びを体得していく ・想像力が豊かになり目的をもって行動し作ったり描いたり、試したりするようになる ・感情が豊かになり、身近な人の気持ちを察し、思いやりを持って接する 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的生活習慣が身に付き、運動能力が伸びる ・遊びを発展させるため、自分たちできまりをつくる ・相手を許したり、異なった思いや考えを認めたりする等、社会生活に必要な基本的な力を身に付ける ・自分の経験したことや感じたことを表現する 	
重点	安心安全な環境のもと、保育者の愛情豊かで応答的な関わりを通して、人への信頼感を育む	安心できる環境のもと、自分でしようとする気持ちを受け止めてもらいながら、意欲的に活動する		友達と共に過ごす心地良さを感じ、一緒に楽しむことのできるまじりを守ろうとする	友達と関わりながら、伸び伸びと体を動かして遊び、充実感を味わう	友達と一緒に活動する楽しさを味わい、共感したり葛藤したりする中で、お互いの思いに気づき、思いやりの気持ちをもつ	友達と活動する中で、共通の目的を見出し、思いや考えを出し合いながら、協力してやり遂げ、達成感を味わう	
養護	生命の保持	・生理的欲求の充実に図る		・適度な運動と休息を充足させる	・基本的生活習慣の確立を目指す	・運動と休息のバランスと調和を図る	・健康・安全への意識を高める	
	情緒の安定	・受容的で応答的な触れ合いを大切に ・情緒的な絆を形成する		・温かなやり取りによる心の安定を図る	・自我の育ちを受容し共感する	・心身の調和と安定により、自信を持って行動できるように援助する	・本物の自信の確立と他者を受容する気持ちを育む	・見通しをもった意欲的な生活を通して、心身の安定を図り、就学への意欲を醸成する
乳児期の園児の教育・保育に関するねらい及び内容の三つの視点	健やかに伸び伸び	<ul style="list-style-type: none"> ・食事(授乳)、睡眠、排泄などの生理的欲求が満たされ、一人一人の生活リズムで穏やかに心地よく過ごす ・保育者との温かい触れ合いの中で、自ら体を動かそうとする意欲が育つ 		<ul style="list-style-type: none"> ・保育者の丁寧な関わりを通して、簡単な身の回りのことを自分でしようとする気持ちを持つ 	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な身の回りのことを、試行錯誤しながら自分でできたときの達成感や心地良さを味わうことで、主体的に生活する意欲が高まる 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者との温かいつながりや適切な援助を通して、基本的生活習慣や態度を身に付ける ・保育者や友達と触れ合い、安定感を持って行動する 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者の適切な援助とともに、より良い集団との関わりを通して、生活習慣の自立を図る ・様々な遊びのおもしろさに触れ、いろいろな経験を通して、積極的、主体的に遊びを楽しむ ・自分の体を大切にしなければならないことに気付く 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣を確立する ・安定感をもって行動し、生き生きと主体的に活動に取り組む ・健康や安全への関心を高め、病気や怪我を予防する態度を身に付ける
	身近な人と気持ち	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者の温かく丁寧な触れ合いを通して芽生えた、保育者への愛情や信頼感を土台にして、人との関わりが次第に広がっていく 		<ul style="list-style-type: none"> ・保育者の受容的・応答的な関わりの中で、欲求を適切に満たし、安定感をもって過ごす 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友達との安定した関係の中で、共に過ごす心地よさを感じる ・保育者の仲立ちにより、友達との関わり方を少しずつ身に付ける 	<ul style="list-style-type: none"> ・やりたいことをみつけ、保育者と一緒にじっくり考える時間を過ごす体験を通して、自分で考え、行動しようとする気持ちをもつ ・友達と楽しく生活する中で、まじりの大切さに気づき、守ろうとする 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のやりたいことに取り組むことにより、友達と過ごす楽しさを味わったり、自分の存在を感じたりして、友達と様々な感情の交流をする ・互いのよさや特性に気づき、一緒に活動する楽しさを味わいながら、人間関係を広げ、深めていく 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と活動する中で、共通の目的を見出し、工夫したり、協力したりする楽しさを十分に味わう ・友達や年下の子どもの関わりを深め、思いやりをもつ ・高齢者をはじめ、地域の人々等、自分の生活に関係の深いいろいろな人に親しみを持つ
	身近なものとの関わり、感性が育つ	<ul style="list-style-type: none"> ・眺めたり、触ったり、なめたりと様々な試しながら、身の回りのものに親しみ、満足感や面白さを味わって、興味や関心が高まる ・じっと見つめたり、手にしたものを何度もあれこれと試してみたりする中で、その変化や反応する様子に不思議さや楽しさを感じ、身近な環境に自ら関わろうとする意欲が高まる ・身体の諸感覚を十分に働かせながら遊びこむ経験を重ねて、認識する世界が豊かになる ・自分の感じ取ったものを身近な人と共有する喜びと体の育ちに支えられ、表情や体の動き等で表現しようとする 		<ul style="list-style-type: none"> ・安全で活動しやすい環境での探索活動を通して、身近な環境や自然に興味や関心をもつ 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な物の持つ性質や動きの特徴、物と物の違いや関係性、仕組み等を経験的に理解し、自ら新しい遊び方を発見することに面白さや喜びを見出す 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然に触れて生活し、その大きさ、美しさ、不思議さ等に気付く ・様々な物に自分から関わり、発見を楽しんだり、考えたりし、それを生活に取り入れようとする ・身近な物を大切に 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の様々な恵みを巧みに遊びに取り入れる ・身近な物や用具に興味を持って関わり、これまでの体験と関連付けて考えたり、試したりして工夫して遊ぶ ・身近な動植物に親しみを持って接し、生命の尊さに気づき、いたわり、大切に 	<ul style="list-style-type: none"> ・季節に応じた遊びを取り入れ、季節により自然や人間の生活に変化のあることに気付く ・様々な物の性質や仕組みに気づき、友達との情報交流を通して、その物と関わりを繰り返し楽しむ、性質や仕組みへの関心を深める ・数量や図形、簡単な標識や文字などに関心を持つ
	発見や工夫を楽しむ子	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者との応答的な関わりや話しかけにより、自ら言葉で表そうとする ・絵本に親しむ 		<ul style="list-style-type: none"> ・保育者を仲立ちとして、生活や遊びの中で、友達との言葉のやり取りを楽しむ ・絵本や紙芝居を楽しむ、簡単な言葉を繰り返し返したり、模倣したりして遊ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活に必要な言葉を知り、思いや気持ちを言葉で表す ・保育者や友達の言葉や話に興味を持ち、親しみをもち聞いたり、話したりする ・親しみをもち、日常の挨拶をする 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と関わる中で、したいこと、してほしいことを言葉で伝えたり、分からないことを尋ねたりする ・自分の思いや考えを自分なりの言葉で表現し、保育者や友達と伝え合う喜びを味わう 	<ul style="list-style-type: none"> ・人の話を注意して聞き、相手にわかるように話し、よりよいものを作り出す話し合いを楽しむ ・絵本や物語等に親しみ、想像力を膨らませ、その世界に没入 ・文字などで伝える楽しさを味わう 	
表現	<ul style="list-style-type: none"> ・水、砂、土、紙、粘土、氷、光、風等、多様な素材や自然と触れ合い、形や色、音、感触、香り等、それぞれが持つ性質や特徴を様々な感覚で捉え、諸感覚の発達を促し、世界を広げていく 		<ul style="list-style-type: none"> ・様々な状態の様々な素材に自らの体で直接触れ、その物の感触等を十分に味わい、楽しむ経験を通して、感覚や感性を豊かにしていく ・生活の中で、興味のあることや経験したこと等を自分なりに表現して楽しむ ・音楽、リズムやそれに合わせた体の動きを楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の中で様々な音、形、色、手触り、動き等に気付いて楽しんだり、その中にある面白さや不思議さ等を感じて楽しんだりする ・いろいろな素材に親しみ工夫して遊ぶ ・感じたこと、考えたこと等を音や動きなどで表現したり、自由にかいたり、作ったりしようとする 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の中で美しいものや心動かす出来事に触れ、イメージを豊かにする ・感じたこと、考えたこと等を音や動きなどで表現したり、自由にかいたり、工夫して作ったりすることを楽しむ ・音楽に親しみ、歌を歌ったり、体を動かして表現することを楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な出来事の中で、感動したことを伝え合う楽しさを味わう ・いろいろな素材に親しみ、工夫して遊ぶ ・かいたり、作ったりすることを楽しみ、遊びに使ったり、飾ったりする ・自分のイメージを動きや言葉等で表現したり、演じて遊んだりする楽しさを味わう 		

年 齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳		
遊 び	・ 見たり、触れたり、握ったりすることを楽しむ ・ 引く、押す、振る、はがす、たたき遊びを好む	・ 登る、降りる、跳ぶ、くぐる、押す、引っ張る遊びを好む ・ いじる、たたき、つまむ、転がす等の手指を使う遊びを楽しむ	・ 全身を使う運動を取り入れた遊びを好む ・ 水、砂、土遊びを楽しむ ・ 巻く、かける、分ける、ねじる、裏返す、たたむなど、より細かな手の動きを使った遊びを好む	・ おままごとを数名で楽しむ ・ 全身や遊具を使った遊びを好む ・ 様々な用具、材料に触れ、それを使って遊びを楽しむ	・ 大人と一緒に友達と簡単なルールのある遊びを楽しむ ・ 役割のある遊びを好む ・ 身近な遊具や用具を使い、十分に体を動かして遊ぶことを好む	・ 友達とルールのある遊びを楽しむ ・ 文字、数、言葉遊びを楽しむ ・ 競争的な遊びを楽しむ ・ 劇遊び、運動遊びなどいくつかの身体的機能を同時に働かせる遊びを好む		
配慮すること	・ 発達に応じて遊びの中で体を動かす機会を十分に確保し、自ら体を動かそうとする意欲が育つようにする ・ 多様な感情を受け止め、温かく受容的・ 応答的に関わり、一人一人に応じた適切な援助を行う(喃語や指差しに優しく目を見て応える) ・ 楽しい雰囲気の中で保育者との関わり合いを大切に、ゆっくりと優しく話しかける ・ 集中して見つめたり、試したりしている時には、静かに見守る	・ 「自分で」という気持ちを尊重し、温かく見守るとともに、愛情豊かに、応答的に関わり、適切な援助を行う ・ 思い通りにいかない場合等の子どもの不安定な感情の表出については、受容的に受け止めるとともに、そうした気持ちから立ち直る経験や感情をコントロールすることへの気付きにつなげていけるように援助する	・ 自我の育ちを見守るとともに、保育者が仲立ちとなって、自分の気持ちを相手に伝えることや、相手の気持ちに気付くことの大切さなどを丁寧に伝える ・ 遊びを通して感覚の発達が促されるように玩具等を工夫する ・ 片言から、二語文、ごっこ遊びでのやり取りができる程度へと、大きく言葉の習得が進む時期であることからそれぞれの子どもの発達の状況に応じて、遊びや関わりを工夫する	・ 遊びの中で、周囲の環境と関わり、次第に周囲の世界に好奇心を抱き、その意味や操作の仕方に関心を持ち、物事の法則性に気付き、自分なりに考えることができるようになる過程を大切にすること ・ 他の子どもの考え等に触れて新しい考えを生み出す喜びや楽しさを味わい、自分の考えをよりよいものにしていくような気持ちが育つようにする	・ 子どもが自ら周囲に働きかけることにより多様な感情を体験し、試行錯誤しながら諦めずにやり遂げることの達成感や、前向きな見通しをもって自分の力で行うことの充実感を味わうことができるように、子どもの行動を見守りながら援助を行う ・ 子どもの表現しようとする意欲を受け止めて、子どもがその子らしい様々な表現を楽しむことができるようにする	・ 一人一人を生かした集団を形成しながら人と関わる力を育てていくようにする ・ その際、集団生活の中で、子どもが、自己を発揮し、保育者や他の子どもに認められる体験をし、自分のよさや特徴に気付き、自信を持って行動できるようにする ・ 子どもが自ら行動する力を育てるようにするとともに、友達と試行錯誤しながら活動を展開する楽しさや共通の目的を実現させる喜びを味わうことができるようにする		
遊びを通して、「自分で考え自分で行動する」「自分も人も大切に」「発見や工夫を楽しむ」ことができるような環境を工夫する								
保健安全	年間目標 ① 健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を養う ② 子どもの心身の状態を把握し、疾患等の発見・ 発生予防・ 事故防止に努め、生命の保持を図る ③ 保健だよりや掲示板を通して、感染情報・ 予防法・ 子どもの健康維持について、家庭に知らせ、一緒に取り組む							
食 育	おいしく食べる・ 楽しく食べる ★お腹の空きリズムが持てる子 ★食べたい物、好きな物が増える子 ★自然の恵みや食べ物に携わる人々に感謝の気持ちを持つ子 ★一緒に食べたい人がいる子 ★食事作りや準備に関わる子 ★食べ物を話題にする子							
	・ 様々な食べ物を見る、触る、味わう経験を通して、自分で進んで食べようとする	・ 様々な食べ物を見る、触る、噛んで味わう経験を通して、自分で進んで食べようとする	・ いろいろな種類の食べ物や料理を味わう ・ 保育者や友達と一緒に食べる楽しさを味わう	食と健康	食と人間関係	食と文化	いのちの育みと食	料理と食
【食物アレルギー対応】 医師の指示(食物アレルギー食事指示書)のもとに適切に対応する								
個別発達支援	○ 配慮を必要とする園児の実態把握を行うとともに、個別の指導計画①②を作成する(短期目標・ 具体的な手立てを学期ごとに作成し見直しを行う) ○ 年2回、保護者と懇談し、支援計画の共通理解を行う(個別の指導計画③) ○ 療育施設、保育支援課と連携し、検査結果等を基に、支援計画の見直しを行う ○ 個別発達支援委員会を設置する。(年間計画に基づいて、ケース会議、全職員への共通理解、研修会を実施する) ○ 卒園前に保護者と共に、就学支援シートを作成し、一人一人の成長・ 発達の歩みを小学校につなげる							
異年齢活動	普段の遊びの中で交流を図る			・ 年上の子に親しみを持ち、一緒に楽しく活動する	・ 自分ができるところを進んで行い、異年齢の友達と仲良く活動する	・ 生活や遊びなどで、年長者としての自覚や誇りを持ち、思いやりやいたわりの気持ちを持って行動する		
に じ 組 活 動								
家庭的保育との連携(0~2歳児)	○ 大きな集団(本園)との積極的な交流(延長保育・ 土曜保育)により、集団保育への移行をスムーズにする ○ 行事交流 (誕生会・ 祭り・ プール遊び・ 運動会・ 作品展・ 発表会等)を計画的に行う							
家庭との連携	○ 送迎時の保護者と職員の対話 ○ 連絡帳 ○ 離乳食面談 ○ 親子ふれあい(乳児) ○ 子育て相談 ○ 発達相談 ○ ドキュメンテーションの掲示・ 配信 ○ 子どもの育ちが見えるエピソードの伝達 ○ 日々の連絡 ○ 個人懇談会 ○ 園だより ○ 教育相談 ○ 動画配信							
小学校との接続	○ 指導要録の送付 ○ 行事交流 ○ 保幼こ小連絡会議 ○ 授業参観 ○ 保育方針冊子送付 ○ 園だより・ 学校だよりの交流 ○ 小学校の施設探検 ○ 就学に向けて子どもの育ちをつなぐ連絡会 ○ 就学支援シートの作成 ○ 小学校教員による出前授業							
子育て支援	○ 子どもとの関わり方・ 子育ての悩みや不安を気軽に話せる場と雰囲気作り ○ 一時保育 ○ 園庭開放(週1回) ○ 親子リトミック教室(年6回) ○ 親子運動遊び(年1回) ○ 親子通園							
地域との連携	○ 地域民生児童委員・ 主任児童委員との連携 ○ 地域のリハビリ事業「ほっこりくらぶ」との交流 ○ 神明学区福祉委員会との交流 ○ ボランティア・ 中学生職場体験・ 高校生福祉体験授業の受け入れ ○ 実習生の受け入れ ○ 一時避難場所としての防災連携 ○ 宇治市保育支援課との連携 ○ 宇治市こども福祉課(家庭相談)及び児童相談所との連携 ○ HPIによる園の情報提供 ○ 園だよりの町内・ 学区民生児童委員配布 ○ 神明学区文化祭参加 ○ 町内との行事交流 ○ 地域高齢者向け教室							